

# 箱根組ニュース

第278号 2016年 新年号

編集発行人 戸丸悟

箱根組は自然を大切にします！  
各自保険に入って山に登りましょう！

## 鶴巻温泉駅から吾妻山へ弘法山の尾根を楽しみ、権現山で20人の芋煮パーティー！！

12月20日(日) 小田急線新宿駅発  
7時31分の急行小田原行きに乗車。

鶴巻温泉駅に8時34分着。

降り立ったのは、神山、星野親子、太田、星野幸、宗像夫人、坂巻、川名夫妻、菊池、松本、川島、奥村、岩岳、和田、神吉、及川、戸丸、伊東から参加の西川との総勢19名。後で山頂で合流の浮田とで20名になった。

8時50分、身支度の後、歩き出す。左側の弘法の湯を通過し東名高速の下をくぐる。左に曲がった広い道路の横で19人の自己紹介と体操をする。空は雲一つない快晴。

9時12分、出発。標識には吾妻山0.5キロ、弘法山3.5キロ、権現山4.3キロとある。3mほどもある皇帝ダリアが淡いピンクの大きな花を付けている。

民家の横の坂道を登ってゆく。鶏が数羽放し飼いになっている。すぐに左に曲がると山道になり尾根に出る。

9時21分、左弘法山に至るの石柱を

左に曲がりまっすぐ尾根道を進む。緩やかな丸木の階段状の登りだ。道は落ち葉でいっぱい。体が熱くなり、寒さで着込んでいた上着などを脱いで進む。駅から近いこんなところに素敵な自然林の尾根道があることに感動する。

9時39分、駅から800m地点を通過。ゆっくり穏やかな坂道を行く。

9時42分、吾妻山着。小さな東屋があり、展望もいい。

9時52分、右側に小さなミカン畑があらわれる。たわわにみかんがなっている。後ろから来ていた親子連れも鈴なりのみかんに驚いていた。

9時53分、矢倉沢道分岐通過。

9時56分、東海大学駅前方面の野仏の道を通過。小さなピークを越えて緩やかな下りになり、また少し上りになる。黄色い黄葉がきれい。

10時33分、弘法山まであと1キロの地点の分岐を登ってゆく。少し下りになる。

10時50分、道の左側のみかん畑の



横で小柄なおばあさんが、ミカンや黒豆などを売っている。小さ目のみかんだが甘くておいしい。みんなが少しお土産を購入。

10時56分、林を抜けたら展望が開ける。右側に大山や丹沢の山々、そして富士山が雪化粧をして浮かぶようにこちらを見ていた。

11時10分、弘法山着。弘法大師が修行したといわれるこの山周辺の中心地。弘法山、権現山、浅間山と合わせて弘法山ともいわれるらしい。全体が弘法

大野さんより5000円、及川さんより3000円頂きました。秦野の昼食の残金と打ち上げ残金1652円を会計に入れました。

現在の収支	
繰越収入	30632 円
	9652 円
支出	
印刷費	1000 円
コピー代	400 円
現在高	38884 円

切手残数  
82円  
切手  
194枚

山公園で桜の名所になっていく。釈迦堂。大師堂、鐘楼があり、昔懐かしい汲み上げの井戸もあってなかなかおいしい水だった。それほど広い境内だが昔の趣のあるいい境内だ。たくさんの人で賑やかだ。長い階段状の道を降りて

いく。いったん平らになってしばらく行くと権現山への階段状の道になる。途中の紅葉がまだまだ見ごろで見事だった。

11時45分、2階建てのお寺のような屋根の展望台のある権現山の広場に到着。この後、別ルートで現れたのは浮田さん、総勢20名になる。

さっそくメインの芋煮の準備にかかる。材料はみんな持ち寄った、こんにゃく、うどん、里芋、長ネギ、しめじ、舞茸、焼き豆腐、ごぼう、



集合 1月31日(日) JR中央線  
東京駅 7:19発 中央特快高尾行き  
(前から3両目車内)

途中駅発 神田7:21 御茶ノ水7:23  
四ツ谷7:28 新宿7:35(12番線) 中野7:40  
三鷹7:48 国分寺7:55 立川8:01  
日野8:04 豊田8:07 八王子8:11  
西八王子8:14 高尾 8:18着(乗り換え)  
8:20発(普通)甲府行き 大月 8:57着  
(乗り換え) 9:03発 富士急行(普通)  
河口湖行き 禾生 9:13着 (PASMO可)

●お申し込み・お問い合わせ

Tel・Fax/ 03-3521-6898 戸丸  
戸丸携帯 090-4541-7066

携帯メール: satorutomaru@gmail.com

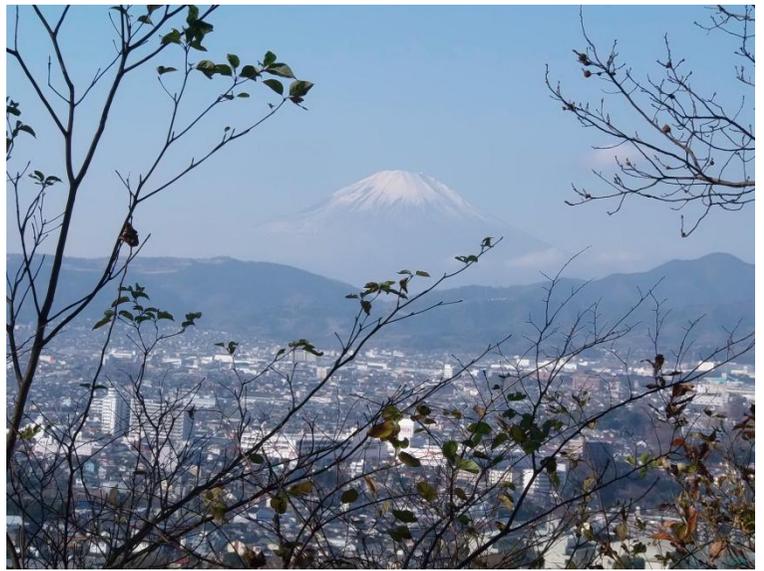
メール: tomarusatoru@hotmail.com

箱根組ホームページ

http://www.geocities.jp/hakonegumi1991/

●申し込みは1月29日(金)までに

2016年の幕開きは、高川山から富士を仰ぎます。1月31日(日)は高川山(975.6m)です。  
レギュラーコース 歩行4時間半  
富士急線禾生駅から歩いて大月駅に降ります。  
(富士急線もスイカ、パスモが使用可になりました。)  
※用心のため軽アイゼンをお持ちください。  
○持ち物 昼食、軽アイゼン、ポットにお湯、飲料水、非常食、雨具、傘、スパッツ、タオル、着替え、ヘッドランプ(予備電池)、地図、筆記用具、救急薬品(三角巾、包帯、痛み止めスプレーなど)、健康保険証、ビニール袋、ちり紙(ロールペーパー)、予備靴紐、ライターかマッチ、ナイフ、ホイッスル、磁石、他、山と高原地図登山装備表などを参考に。



牛肉、銀杏、蒲鉾、刻み葱等。

大鍋であらかじめ牛肉をツユで煎り付ける。牛肉をいったん取り出し、今度はこちらにやく、里芋、焼き豆腐、ごぼう、銀杏などを鍋に入れ沸騰させる。頃合いを見計らって牛肉を鍋に戻し、そこに長ネギ、しめじ、舞茸を入れると大鍋のふたも閉まらないほどの大迫力。アツアツを食べるとたまらない美味しさだった。仕上げは、残ったところにうどんを投入しネギや牛肉で調整、柚子を絞り、柚子の皮の千切り、刻み葱、七味唐辛子で

最高の肉うどんの出来上がり。美味しいおつまみも並んで、お酒も熱燗や冷がこちらで進んで、20人のパーティーは大盛り上がり。

食後、展望台に登って景色も楽しむ。あいにく雲が出て先ほど見た富士山は隠れてしまったが、秦野市内や丹沢大山方面の景色は素晴らしかった。

2時30分、下山開始。意外に急な階段状の丸木の道から始まる。いったん車道を横切りまた山道に戻る。臘梅が黄色い花を付け始めていた。

2時50分、浅間山通過。真っ赤な紅葉が少し曇り始めた中で主張していた。急な斜面に九十九折れの道がついていて一気に高度を下げる。秦野の町が目の下に迫っている。ゆっくりゆっくり慎重に下ってゆく。

3時20分、登山口に降りる。丹沢の峰から流れ出てくる戸川に沿って丹沢に向かうように進む。左の橋を渡って秦野の駅へ。カキの木にヒヨドリの群れが騒がしく群れていた。

4時前、秦野駅前に到着。いったんここで解散。

二次会に残ったのは10名。駅前

の居酒屋に落ち着く。昼食であれほど食べたのに・・・、また、ゆつくりと美味しいビールやつまみでひと時を過ごす。

それにしても芋煮鍋は最高でした。1年を締めくくるといい忘年会になりました。



